

# しんあい

## 季刊

2019年(令和元年)12月20日発行 第112号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10  
TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、  
ブログを毎日更新しています。

<https://www.tama-dhk.or.jp/>  
をぜひご覧ください！



お母さんの腕に抱かれながらしっかりカメラ目線の生後1ヶ月の男の子。(きずな)

### 泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター  
泉苑ケアセンター

### 緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- あさひ苑
- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑  
高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市高齢者住宅うらら多摩

### 神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者  
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ  
相談センター

### 児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 社会福祉法人を考える3

◆ 紙上展覧会

◆ 坂本名誉理事長を偲んで

◆ 施設だより  
「冬の準備は万端」



# 社会福祉法人 を考える 3

－平成30年間の変化－〔職員・総論編〕

理事長 鈴木 恂子

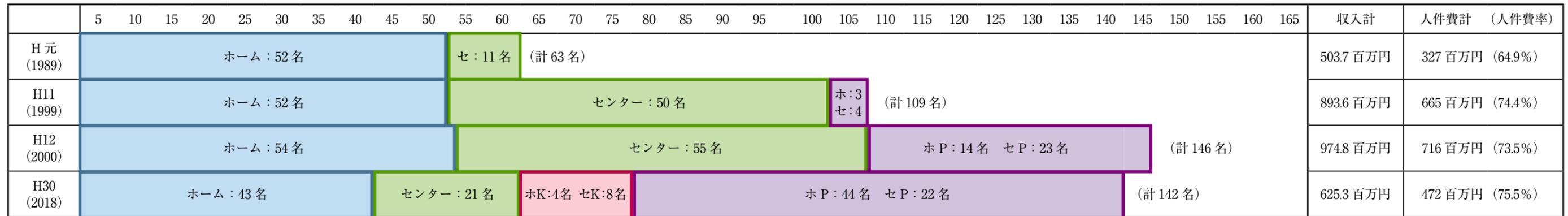


制度に基づく事業の職員体制（職種／職員数／雇用形態／人件費等）は、施策によって大きく左右されます。  
 ホームの場合：介護保険制度以前は東京都の独自施策により介護職員の増配置やリハビリ職の配置、連携病院などの補助があり、加えて公私格差是正事業により準公務員的な給与水準の引き上げがありました。介護保険制度施行とともに東京都の独自施策は経営支援補助金のみとなり、東京の施設は職員体制の見直しを余儀なくされました。また保険制度は非常勤の常勤換算を前提としているため、多様な働き方によるシフト勤務と利用者サービスの水準確保に苦慮する状況が続いています。

センターの場合：在宅サービスが充実していた自治体は事業ごとに正職員が配置され、専門性を発揮していました。全国水準の介護保険制度は兼務や非常勤を前提とした報酬単価となり、ケアマネジャーのプランに基づくサービス提供になりました。

今回は、前号の〔財源〕に続き、泉苑におけるホーム（特別養護老人ホーム）とセンター（高齢者在宅サービスセンター・在宅サービス部門）の職員の動きについて、平成の30年間の変化を整理しました。

年 度	平成元 (1989) 年			平成11 (1999) 年			平成12 (2000) 年			平成30 (2018) 年		
	ホ ー ム	セ ン タ ー	合 計	ホ ー ム	セ ン タ ー	合 計	ホ ー ム	セ ン タ ー	合 計	ホ ー ム	セ ン タ ー	合 計
正 職 員	52	11	63	52	50	102	54	55	109	43	21	64
準 職 員	0	0	0	3	4	7	14	23	37	48	30	78
常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	12
非 常 勤	0	0	0	3	4	7	14	23	37	44	22	66
合 計	52	11	63	55	54	109	68	78	146	91	51	142



ホーム：正職員      センター：正職員      準職員（常勤）〔K〕      準職員（非常勤）〔P〕

年度	平成元 (1989) 年	平成11 (1999) 年	平成12 (2000) 年	平成30 (2018) 年
事業の動き	<p>措置費は、事務費と事業費に区分され、事務費の80～90%が人件費であった。人件費は職種ごとに配置基準があり、算出総人件費を利用者定数で除したものが基本となり事務費単価が算出された。配置基準は、原則、常勤正職員と決められていた。国基準の措置費に加えて東京都は単独で職員増配置と給与水準の引き上げを行っていた。また昭和50(1975)年に全国に先駆けて実施された在宅サービスは、東京都が独自の施策のもとで実施自治体を補助し、自治体から在宅サービスは委託された。</p> <p>泉苑は、1975年に開設し、翌年から在宅サービスに取り組み、平成4(1994)年までは府中市全域のショートステイ、デイサービス、入浴サービスを1センターで担当した。</p>	<p>平成元(1989)年ゴールドプラン発表以降、在宅サービスは年々充実し、泉苑のセンターは特養と同規模の職員体制となった。高齢者在宅サービスセンターとしてショートステイ、デイサービスに加えて、ホームヘルプや訪問食事などの訪問系事業が開始した。平成4(1992)年には、府中市最初の在宅介護支援センターとして、積極的に地域に出向き、相談や調整機能が充実した。</p> <p>泉苑は、平成2～3年都道計画によって大規模改修工事を実施し、施設機能を背景に入所・滞在・通所・訪問とトータルな在宅サービスを提供し、泉苑全体が地域の拠点となることを目標とした。在宅介護支援センターは、ホームと在宅を結ぶ接点でもあった。</p>	<p>介護保険制度施行初年度。特養の介護職は配置基準が3：1となり、東京都の増配置分が吸収された。常勤換算を認めた報酬単価と公私格差是正事業の解消により、給与水準の見直しとなった。センターに、居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）配置の事業が開始。ホームは毎日2名の夜勤パートにより、複雑多様化する日勤業務に対応した。東京都が一気に独自施策を撤廃したが、府中市は新制度により在宅サービスの水準は下げない方針で、介護保険課と高齢者福祉課が両輪となり、介護保険制度に移行した。しかし、以後順次高齢者福祉が保険制度と支援制度にかわり、福祉施策は予防事業等になっていった。</p>	<p>ホーム：夜勤パートのほかに、朝食夕食時の短時間パートを毎日4名配置。業務分析による間接業務の準職員化をすすめることが不可避になる。</p> <p>センター：市の委託事業が包括支援センターとその関連事業に縮小し、通所介護は介護保険事業の基準に沿って非常勤体制となった。</p> <p>正職員は平成元年当初とはほぼ同数となり、準職員増で多様な事業を分担している。ちなみに泉苑の事業は、特別養護老人ホームの他にセンターは短期入所生活介護（ショートステイ）と、通所介護・予防通所介護・認知症対応型通所介護、居宅介護支援や介護予防支援。地域包括支援センターには本来業務にくわえて地域デイや介護予防等が市から委託されている。また地域公益活動として、法人独自事業の食事サービス等を実施している。正職員(64名)と準職員(78名)の計142名となっている。</p>

編集：事務局 青木志乃

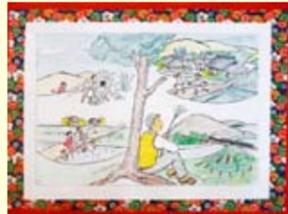
## 岩本町

昔は手芸が好きで娘様の服などを良く縫っていたそうです。今は手が器用に動かないからこれくらいのものが丁度良く、楽しんで出来たとご満悦でした。(K様)



「これでいいかしら。昔は、娘にも作りました。今はうまくできないけれど…」毛糸を自身で選び、マフラーの長さや幅も自分の首元に合わせながら作った作品です。(T様)

生まれも育ちも神田っ子のご利用者ですが、子どもの頃、戦争中の疎開の中での僅かな幸せなひとときを想い出しながら、塗り絵の作品を仕上げてくださいました。(M様)



# 展

## たっち



マグネットのすてきな町ができました！(ニコくん)



「魔女の宝石を作ったよ！」(はな)

## かんだ連雀



元号が変わった最初の書道の活動で書いて頂きました。

お手本通りに色を塗ることが出来ました。

難しいところは職員と一緒に作り完成させました。



# 覧

## しらとり

公園で見つけた桜の花びらでしおりを作りました。



しらとり学童の手作りパン！どんな形にしようか考えながらこねこねしました。

レジン工作はうまくできるととても楽しい！



## 緑苑

緑苑には「画伯」と呼ばれるご利用者がいます。絵を描く事が大好きなKさんは、時間があると職員の写真を見ながら似顔絵を描いて過ごしています。その数なんと50枚以上！その集大成を今回みどり展に展示させていただきました。



似顔絵の隣に絵の元になった写真を飾り見比べとる「目が似てる！」「特徴を捉えてる」とご覧になられた方からも好評。

Kさんは「恥ずかしいよ」と照れ笑いをしながらもとても嬉しそうにされていました。緑苑の職員は半数以上描きつくしてしまいました…

素敵な似顔絵を描いてくださると思いますので画伯に似顔絵を頼みたい方は是非写真を持参していらしてくださいね。

介護員 小林 春菜

# 会

毎年恒例の紙上展覧会です。今年も各施設のご利用者の力作をご紹介します。

## きずな



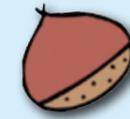
ステキな鉤針編みの作品です。

学童の子ども達で作った個性豊かな作品たちです。



保育室の皆でハロウィンのマントを作りました。

## 泉苑



広告紙をみんなで選んで、季節の草花を描いたちぎり絵です。



時間をかけて作った大作です。



ワンピース、ブラウス、スカート…どれもおしゃれで、本当に着てみたいものばかりです。



## あさひ苑



グラデーションの色使いにひと工夫。力を合わせて作りあげました。(ひだまりの皆さま)

切磋琢磨しながら取り組みました。それぞれの味が出ています。(深田住江様・千北優子様)



柿の種の位置に苦労しました。(渡邊 シツ子様)

# 施設 だよい



## 冬の準備は万端

### たち

心もあたたかくなり  
なりそうな工作

ファミリー・サポート・センターでは、会員を対象とした行事を定期的  
開催しています。12月には「交流会」と、お茶を飲みながら簡単な工作をす  
る「ファミカフェ」が行われました。ファミリースポーツの行事を企画して  
いるのは、提供会員から選任された10人のサブリーダーたちで、企画の話し  
合いでは、さまざまなアイデアを持ち寄りその会のテーマを決めています。  
今回の交流会では簡単にできるツリーを作りました。毛糸をまいてできた  
ツリーの中には、LEDライトを入れることになり、色とりどりの糸の中か  
らぼんやりと光る様子は、見ているだけであたたかな気持ちになります。

ファミリースポーツの行事の特色は、参加者の年齢の幅が広いことにあり  
ます。0才の赤ちゃんから、子育て中の依頼会員、提供会員は30代から70代  
の方までいらっしやいます。工作中、お子さんたちは別室でサブリーダ  
ーが保育をします。依頼会員もお子さ  
んと離れて、工作に集中したり、お茶  
を飲みながらおしゃべりしたりして、  
リフレッシュできるひとときになっ  
ているようです。ある時には、「お宅は  
どのあたりなの?」「お子さんは何  
歳?」などの何気ないやりとりからサ  
ポートにつながることもあります。

ファミリースポーツ・センター  
(社会福祉士) 田宮絢乃



### 我さておいて

理事 (前泉苑施設長) 福岡 重男

私は多摩同朋会で約40年勤務していますが、言葉では言い尽くせないほどの様々なことを坂本巖先生から教えていただきました。

私の心に一番深く刻まれているのは、「我さておいて」という言葉です。これは、坂本先生ご自身が故中城理事長を陰から支えることで実践されていたことと思います。どんな時でも自分の事を考える前に他の人のことを思いやること、手を差し伸べて支えることが一番大切な事であるということです。

先生は、子どもにも高齢者にもそして職員にもいつも優しく接してくれましたが、本気で怒ったことがありました。職員親睦会で秋川の河原でバーベキューをしていた時のことです。酔って羽目をはずした職員を大きな声で叱りつけたのです。その場は、一瞬シーンとなりました。私や他の職員がちゅうちょして言えなかったことを先生が言って下さったのでした。

先生は体も決して大きい方ではありませんでしたが、いつも私を包み込んでくれるようで心がやすらぎました。坂本巖先生にお会いして、私の人生観は変わりました。本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

### 福祉の仕事の原点

元白鳥寮施設長 田口 信一

坂本名誉理事長は、私にとって社会福祉法人多摩同朋会そのものでした。1981年(昭和56年)多摩同朋会に入職し、翌年4月、当時施設長でした網代母子寮(現母子生活支援施設網代ホームきずな)に異動した時からの上司であり、親代わりのような方でした。

網代母子寮は自然に囲まれ、とても家庭的な施設でした。他業種から転職し、福祉のことがまだよくわからない時に、坂本施設長から法人創設時の話を直接伺いました。私はとても感動し、法人の一員として、頑張る仕事をしたいと誓いました。

坂本名誉理事長が泉苑施設長、そして理事長となられたのちも、母子寮の時と同じように、何でも相談できる上司でした。定年退職までの35年間、坂本名誉理事長のおかげで福祉の仕事が続けることができたこと感謝しています。ほんとうにありがとうございました。

坂本巖名誉理事長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



平成16年度  
泉苑敬老のつどい

### 岩本町

デイサービスでの  
「身体の冬支度」

岩本町ほほえみプラザのデイサービスでは、ゲーム大会・映画会・歌の会・脳トレ・ニングなどの様々なプログラムを行っています。私は若い頃、極真カラテの指導員をしていたので、その経験を活かして椅子に座って出来る健康体操を担当しています。

活動のなかでは冬に向けて免疫力を高める為、血行を良くして身体を温める体操で「身体の冬支度」をして頂いています。例えば、肩甲骨をいっばい動かして大きな筋肉を刺激し血行を良くすることで、身体ははゆっくりに温まっています。

あるご利用者に「とても身体が温かくなって気持ちが良いわ」と言って頂いた時は、とても嬉しかったです。免疫力を上げる体操は、皆様、真剣に取り組んでくださいますが、笑顔でいっばいになり、自然と身体は冬支度をしていくようになります。

笑顔が一番の健康体操なんだと思います。

デイサービス介護員 吉川 肇



地球温暖化が言われてはいますが、日本にはまだ四季がありますし、冬もしっかりやってきます。

平成29年4月29日  
故中城理事長15年祭  
坂本名誉理事長を囲んで。



いつも笑顔をやさなかつた坂本名誉理事長



季刊しんあい発行のたびに励ましの  
おたよりをいただいていた。



### 泉苑

## 秋の収穫と冬に備えて

北山町に住んでいるN様。夫婦二人で「ナチュラルライフ」を基本にシンプルな生活をされています。若い頃は二人でインドなどを旅行し、旅先で絵を描いていたことなど、訪問する時はいつも二人の話に引き込まれてしまいます。

庭では自分たちのベースに合わせて、野菜を作っています。「小さなナスだけだ、時々取って食べているわ」ナスを指さしています。ナスも色々な調理方法がある中で、漬物にもすること。漬物は日本の昔からある保存食。今でこそ一年中野菜が手に入りますが、季節を感じながら、野菜などを育て、冬の備えとして漬物をつくるご夫婦訪問後に「人にとって大切なことは何か」を考えさせられるお宅の一つです。

地域包括支援センター泉苑  
(社会福祉士) 岩淵研哉



### 緑苑

## 温かくてホクホク・そして美味しい

養護老人ホーム信愛寮の元気なご利用者は、近隣のスーパーやコンビニまで買い物にお出かけになります。

冬が近づき気温が下がってくる時期になると、よく買われているものがあります。

「なんだかわかりになりますでしょうか？それは「焼きいも」です。ひとつひとつ紙ふうろに包まれた、まだ湯気がたつような甘い香りを漂わせた焼きいもを手」

「ほら、これ美味しいですよ？違ったわ。本当に美味しいのよ」と嬉しそうに笑顔で話されるOさん。

ご自分一人で召し上がることもありますが、信愛寮のお仲間にお裾分けして召し上がることも多いようです。ちなみにOさんの話によれば、近くのディスカウントショップのドーナツの焼いもが一番美味しいとか。

養護老人ホーム支援員 佐藤晶彦



### あさひ苑

## 冬の訪れ

最近、朝晩と冷え込むようになってきて、冬の訪れを感じています。

そんな中、利用者の皆様に「冬と言えば何を最初に思い浮かべますか？」とお聞きすると「こたつに入って洗ってお茶を飲む」

「熱々の鍋をみんなでお茶を飲む」

「みかんをお腹一杯食べる」など、その方らしい答えを返してくれました。

冬と言えばやはり鍋ですよ！そこで来月、食事のイベントとして「おでん」の実演を予定しております。厳しい寒さを乗り越えるためにも、身も心も暖まる熱々のおでんをみんなで楽しめたらなと思います。ですが、美味しいものはついつい食べ過ぎてしまいがちです。食べすぎには注意したいものですね。

ホーム介護員 村尾陽海香



### きずな

## 美味しくなあれ

きずなでは畑をお借りして、子ども達と一緒に野菜を育てています。そのきずなファームでは、現在さつまいもを100株以上育てています。10月現在では収穫していませんが、今後収穫し、みんなでおやつを作りたいと考えています。さつまいもの苗は、地域の方から「子ども達のためなら」と頂いたものです。5月頃に植え、雑草取りやツル返し(無駄な根を切って、蔓をひっくり返して敵にのせること)をしながら大切に育ててきました。

職員の手が行き届かない時には、隣の畑の方がご厚意で手入れをして下さることもありました。地域の方に支えて頂きながらできたさつまいもが大きく甘く育っていることを願うばかりです。

少年指導員(社会福祉士) 中村綾花



### しらとり

## 冬の準備は完璧♪

風が冷たくなり、吐く息も白くなっているよいよ冬も本番となってきました。

ひろばにいらっしゃるお子さんたちもキャラクターのパーカー、動物柄のスウェット、素敵な色のニット、モコモコ暖かそうなコートやベストと暖かそうな服装に変わってきました。

しらとりひろばに遊びに来てくれたS君も素敵なベストを着て寒い冬を乗り越える準備はバッチリです。

子どもたちに負けないよう、私もしっかり冬支度をして皆さんをお迎えしたいと思います。

大人にとっては忙しい時期ですが、子どもにとっては楽しみなイベントがいっぱいの季節。しらとりひろばでも楽しいイベントを企画してお待ちしていますので、ぜひひろばへいらしてくださいね。

地域支援ワーカー(社会福祉士) 金本百合香



### 連雀

## 編み物はじめました

台風が去って秋が顔をのぞかせた10月末、手編みの本をご覧になっていたM様にお尋ねしました。

「編み物をされていたのですか」

「うん、昔ね。よくやったのよ」と笑顔でお返事が返ってきました。

「何を編まれていたんですか」

ページを指して「これ」

指していたのはマフラーで「手袋やセーターなんかに比べてとても簡単なの。針棒を二本使ってる、どんだん編んでいくの。結構楽しいのよ。またやりたいなあ」と「三三」とお話ししてくださいました。

それなら、と片付けてあった毛糸を引っ張り出してM様のもとまでお持ちし「これで出来すか」とお声がけすると「あらあ、いいの？じゃ、何を編もうかなあ」と先ほどよりも真剣に編み物の本を読み込み始められました。今日からM様、編み物をはじめます！

ホーム介護員(介護福祉士) 鈴木貴史



# ニュース

2019年10月2日に東京都社会福祉協議会内の地域公益活動推進協議会主催による「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み実践報告会」にて「安心して豊かなシニアライフを過ごしていただくために」緑苑・安心シニア塾7年間の軌跡と役割」と題し、これまでの7年間の活動を振り返り、取り組みを報告してきました。

シニア塾は平成25年に地域のシニア世代の方が感じている不安を安心に変えていただけるよう、手作りの連続講座を実施しようと開講しました。

講座テーマの選考にも苦慮していた手探りの1年目。毎回実施のアンケートから皆さんが何を聞き取りたいかが見えてきて、テーマが絞り込めてきた2年目。アンケートの回答が「受講した個人の感想」から「講座内容や運営への意見」に変わり、参加される皆様の講座への主体的な意識の高まりを感じられるようになってきた3年目。講座終了後に意見交換やこれからのシニア塾について一緒に考えていただく「交流会」を開催し、更に皆様との距離が近づいた4年目。シニア事務局として有志の方々に企画検討・事前準備等にご協力いただけるようになった5年目・6年目。そして7年目の2019年度は毎講座50名を超える方々にご参加いただいています。改めて皆様に親しんでいただき、ご協力いただく中で大きくなってきた取り組みであることを再確認させていただきました。今後ともよろしくお願いたします。

(信愛施設施設長 野尻俊介)



も状く賞手惜は特別賞の特別賞が最優秀事例をいただきました。

※111号でご紹介しました「ボランティアグループ写真」は、写真を趣味とした方々のグループでした。訂正してお詫びいたします。

## 御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

あかしや会 (南秋山酒店 株式会社ディスクカレッジ) し子 などでしこフレンズ 庭商店 福士慈穂 ボランティア (株) P-I-N-T 高齢者クラブ若松の会 国際ソロブチミストあきる野 斎藤次男 佐藤佳須美 (株) 三見須藤 光忠 塩澤津津子 JXTGホールディングス株式会社 コレトカムパニー 老人クラブ東桜会 若松町関ノ原 浅間町二丁目自治会 浅間町婦人会 高砂会 高橋利夫 田辺十二子 ちよだボランティアセンター 永井よ

## ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

青木晃子 青野まり 赤田美恵子 赤林好子 浅見スジ 子 阿部才千代 荒井迪子 有本陽子 石井涼香 石井久子 石井宏 石坂トメヨ 市川知子 井出睦子 井上智美 井上摩利子 岩井建 上野時子 植松八千代 魚川桂子 内保三重子 内堀美喜 内海真理 梅原薫 梅原光洋 下部和子 上床晃代 榎本成子 江戸かつほれ 三味線 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大倉弘子 大島庸子 太田久美子 大坪イネ子 大野文子 大場正子 大原捷子 大室千里 大屋康夫 大類浩平 岡田基子 小川健治 奥山亜子 奥山チャヤ子 オコサの会 尾崎節子 尾崎晴子 尾崎絃之 尾崎佐和子 音楽園 おはなし夢くらぶ 小柳亜樹子 折田浩一 海江田紀久子 鹿島キチ 鹿島千重子 紮野規子 Katsuki Kids 加藤栄子 加藤静 加藤規子 加藤美恵子 加藤洋子 金指真美 金子武仁 神山しげ子 亀岡紀知信 河内ともみ 川崎雅人 菊池和彦 菊地裕子 木下久美子 きずなの手・江戸川 ギター演奏による歌の会 北島美恵子 木谷教子 木森哲 具嶋郁子 國定毅久保田摩耶子 久保紀子 隈元与志恵 蔵内睦子 栗原宏子 グレースと宝石 黒川澄子 黒川トヨ子 弦間まさ 小池昌子 小石暁子 小出農一 小出由美子 黄美華 石澤圭子 国府よさこい 小久保桂子 児島章子 小島恵美子 小島ユミ子 小島百合子 ゴジリアン・エマ 後藤祐輝 小林謙二 小林幸代 小林照子 小林真弓 小林道子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 是永美代子 今野幸子 西郷美絵 斎藤千枝子 斎藤展愛 酒井和子 坂本越子 坂本尚子 佐久間桂子 佐藤イソ 佐藤公子 佐藤なかり 佐藤初江 佐藤秀和 佐藤翔太 佐野田鶴子 佐山香織 COSA 椎名君代 塩澤佳津子 重田文子 篠田良栄 島津たか子 清水文枝 清水光子 清水美砂子 下江美鈴 塩津千鶴 下染屋囃子 下宏子 写真 進藤登美子 新村信子 杉浦真智子 杉本節

子 鈴木暉子 鈴木由美 鈴木好枝 鈴木好子 子 スターバックスコーヒー スワン 瀬戸貞子 高倉祥子 高橋恭子 高橋ヤヨイ 瀧澤千登勢 滝沢玲子 多喜田操子 竹内由美子 田島みよ 館川敏代 田中典子 谷敦子 田部美智子 武野純子 田村知江子 丹野由紀子 千葉芳子 土屋とき枝 堤明 寺町律子 東京都立農業高等学校児童研究部 童謡唱歌の会 戸島正子 柄谷さき 中垣春代 長澤道子 長島広美 中田夏枝 中野渡とみ子 中村千代子 中村美佐江 中村恭俊 中山伊久子 中山寿美 那須史子 西村珠美 二宮澄子 根釜洋子 根岸路子 野坂昭弘 能登すみ子 橋場昭長 長谷川和子 長谷川志津子 林田美樹 林比典子 原田君枝 早矢仕房男 原田康子 原俊江 樋口よし子 久島なる子 日高千敦子 平泉順子 平岡美津子 平松ふじ子 広木さく江 深澤真紀 深堀紀美子 福田佐代子 藤田京子 船岡栄子 舟見三佐子 古園純子 保坂良昭 星野若佐 細木南美 細谷明美 堀江深雪 孫田一昭 政所優季 町田知行 松下朗 松下健 松田恵子 松宏宏枝 丸田のぶ子 三坂和子 ミゾグチリカ 三輪孝子 宮崎清子 武蔵和駒 村井福子 村岡栄美子 明治安田生命 茂木賛 本野幸子 百瀬洋子 守屋貴美子 森脇敦子 八重の会 矢崎英子 柳澤梅子 山崎キヌ子 山田一九 山田ケイ子 山野栄治 山本恵美子 山本峯子 山森貞枝 鍵溝千寿子 ゆうかファミリー エーロクリア・バンク 横尾美知子 横山真智子 吉岡秋夫 吉木京子 吉竹佐紀 吉田ヒサ子 吉田陸子 吉本栄子 米山秀子 るりまつりの会 朗読赤十字奉仕団 ワイビオホワイエアロハ 若葉会 脇山令子 渡辺一恵 渡邊恵子 國定毅 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房子 渡辺守

(2019年9月~2019年11月)

## 編集後記

西の市が終わり、町内会の餅つきがあると、いよいよ冬の寒さ到来です。自宅からは、富士山が見えます。(泉苑 南佳代)

スノーボードを始めてから雪が降るのが今か今かと楽しみます。(泉苑 石川愛)

冬の早朝の張り詰めた空気が好きです。冬の寒さが苦手です。冬のお鍋は最高です。(あさひ苑 高野幸枝)

焼き芋、おでん、もつ鍋、鍋がおいし季節になりました。我が家は、子供達と賑やかに鍋を囲みます。楽しみです。(あさひ苑 田中愛)

神田の名店20店舗が集まった神田カレクランブリに行きました。がやはり食べなれているお家カレーが番!! (緑苑 平岡貴弘)

早番の出勤時に日の出が体感でき季節を感じる事が出来るのがさやかな楽しみです。(かんだ連雀 伊藤裕太)

12月になると補正予算。年が明けると次年度の当初予算や事業計画。年次業務で季節を感じるこの数年です。(事務局 青木志乃)

常夏の島で暮らすのが私の夢ですが、毎朝泉苑の屋上から見える冬の富士山の神々しさも大好きです。(編集長 上野廣美)

冬は服が夏物に比べて重ね着などをするので楽しみが増えます。今年はどんな服を着ようかな? (若本 松本幸二郎)

夏と冬とどちらが好きかは私の永遠のテーマですが、みなさんはどちらが好きですか? 斯く言う私は秋が好きです。私の食欲は秋に限らず通年ものですが... (たち 長谷川朝生)

朝 布団から出るために気合いが必要な季節になりました。人間に冬眠という制度が無いことが残念でなりません。しかし、炬燵でアイスを食べる冬、人間で良かったと思うものです。(しらとり 吉田智咲)

## 介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

●泉苑 老後支援 24時間  
0120-6540-24

●あさひ苑 福祉にっこり 24時間  
0120-2942-24

法人ウェブサイトはこちら

Facebook 更新中

採用情報サイトはこちら

リサイクル適性 (A) VEGETABLE OIL INK  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。